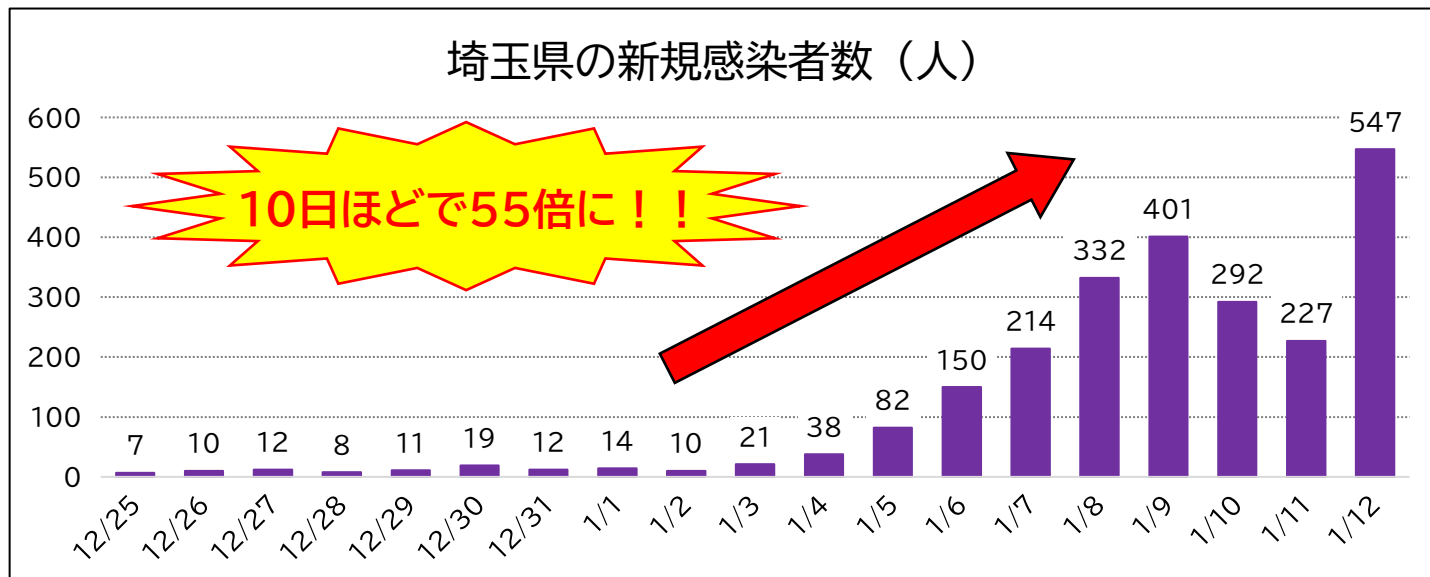




# コロナを知ろう～現在の感染状況～



10月以降だんだん落ち着いてきていた新型コロナウイルス感染症の感染者数ですが、12月末から再び急激に増加しています。この原因の1つが、新たな変異株「オミクロン株」です。現在の新規感染者のうち、オミクロン株の感染が疑われる人の割合は、約79%となっています。市中感染の疑いがある人もおり、今後感染者数は増加していくことが予想されます。これから再び我慢の日々が続くと思いますが、みんなで協力して感染症予防に努めていきましょう。



## 感染力は歴代No.1！爆発的に増えるオミクロン株

感染者数が急増している原因とされるオミクロン株。従来の変異株に比べて、どのような特徴があるのでしょうか。



### 感染力がとにかく強い！

オミクロン株の感染力は、以前まで感染力が強いと言われていたデルタ株の **2.77倍** と推計されています。



### 発症までの期間が短い！

海外からの報告によると潜伏期は3～4日で、従来の新型コロナウイルスよりも2日ほど短くなっているようです。



### 発症したときの症状にも変化が？

流行初期に多くみられていた息切れや味覚異常などの症状は少なく、**咳、鼻水、だるさ、のどの痛み、頭痛、くしゃみ**といった「**かぜ症状**」が多く確認されています。軽い症状であっても、病院を受診することをおすすめします。



### 入院や重症化のリスクは低い？

従来の変異株に比べて、入院や重症化のリスクは低い可能性があるようです。また、**ワクチンの接種によって重症度が低くなる**ことが報告されています。しかし、持病がある人や高齢者については、**変わらず注意が必要**です。



### ワクチンを接種していても感染する可能性が高い！

過去のオミクロン株の感染者のうち、80%近くがワクチン接種済みだったという報告があり、2回のワクチン接種済みの人も、過去に感染したことがある人も、オミクロン株に感染する可能性があります。



### 医療関係者の感染や濃厚接触者の急増により、医療現場は人手不足に・・・

従来のものに比べて感染力が強いため、治療している医療関係者の間でも感染が拡大しています。また、感染せずとも濃厚接触者になると自宅待機になってしまうため、病床数だけでなく人手不足も深刻になりつつあります。

**誰でも感染する可能性があります。より気を引き締めて感染症予防に取り組んでいきましょう。**